

平成 2 5 年度

出水市水道事業会計・出水市病院事業会計
決 算 審 査 意 見 書

出水市監査委員

出 監 第 5 0 号
平成 2 6 年 8 月 7 日

出水市長 渋谷 俊彦 様

出水市監査委員 川 畑 寿 昭
同 鶴 田 悌次郎

平成 2 5 年度公営企業会計決算審査意見書について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された平成 2 5 年度出水市水道事業会計及び平成 2 5 年度出水市病院事業会計の決算を審査した結果について、次のとおり意見を提出します。

	目 次	頁
第1	審 査 の 対 象	1
第2	審 査 の 期 間	1
第3	審 査 の 方 法	1
第4	審 査 の 結 果	1
	公営企業会計決算一覧	2
	水 道 事 業 会 計	3
1	事 業 の 概 要	3
2	予 算 及 び 決 算	4
3	資 金 の 運 用 及 び 保 管 状 況	7
4	損 益 計 算 書	7
5	剰余金計算書及び剰余金処分計算書	8
6	貸 借 対 照 表	10
7	未収金及び不納欠損処分	11
8	経 営 状 況 の 分 析	12
9	む す び	14
	別表1-1 比較損益計算書	16
	別表1-2 比較貸借対照表	18
	病 院 事 業 会 計	20
1	事 業 の 概 要	20
2	予 算 及 び 決 算	26
3	資 金 の 運 用 及 び 保 管 状 況	30
4	損 益 計 算 書	31
5	剰余金計算書及び欠損金処理計算書	31
6	貸 借 対 照 表	33
7	未収金及び不納欠損処分	35
8	経 営 状 況 の 分 析	35
9	む す び	38
	別表2-1 比較損益計算書	40
	別表2-2 比較貸借対照表	42

平成25年度公営企業会計決算審査意見

第1 審査の対象

平成25年度出水市水道事業会計決算
平成25年度出水市病院事業会計決算

第2 審査の期間

平成26年6月9日から同8月6日まで

第3 審査の方法

決算の審査に当たっては、決算書及び決算附属書類は関係法令の規定に基づいて作成されているか、計数は正確であるか、経営成績及び財政状態は適正に表示され、経営は経済性を発揮しているか等に主眼をおき、関係職員の説明を聴取して、経営内容の分析を行った。また、経営内容の動向を把握するために、前年度と比較検討し、計数分析等を行うなど事業の実態を明らかにすることに努めた。

第4 審査の結果

水道事業会計、病院事業会計ともに、地方公営企業法第3条に規定する経営の基本原則に基づいて運営されており、審査に付された決算報告書、財務諸表及び決算附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態は適正に表示されているものと認めた。

公営企業会計決算一覧

営業成績

(消費税抜き、単位：円)

区 分	総収益	総費用	当年度 純利益	当年度未処分 利益剰余金
水道事業	738,598,355	695,075,762	43,522,593	43,522,593

(消費税抜き、単位：円)

区 分	総収益	総費用	当年度 純利益	前年度未処理 欠損金累計額	当年度未処理欠 損金累計額
病院事業	4,223,964,597	4,300,525,481	△ 76,560,884	5,447,892,505	5,524,453,389

財政状況

(消費税抜き、単位：円)

区 分	資 産	負 債 ・ 資 本		
		負 債	資 本	合 計
水道事業	9,981,934,195	133,639,548	9,848,294,647	9,981,934,195
病院事業	6,237,285,371	1,505,072,182	4,732,213,189	6,237,285,371

水道事業会計

1 事業の概要

平成25年度の給水戸数は2万4,423戸、給水人口は5万4,570人で、前年度と比較すると戸数では201戸増加し、人口では116人減少している。配水総量は797万6,230立方メートルで、前年度と比較すると27万3,875立方メートル減少している。また、有収率は77.57パーセントで、前年度と比較すると2.45ポイント低くなっている。

工事については、施設整備事業において大川内地区簡易水道浄水施設整備事業の完成、県道出水高尾野線配水管整備工事、公共下水道事業等に伴う配水管布設替工事等の施設の整備・拡充工事を実施している。また、一般地方道荒崎黒之浜港線地方特定道路整備工事に伴う配水管布設替工事のほか3件の工事を次年度に繰越している。

経理面においては、消費税及び地方消費税調整後の収益的収支では4,352万2,593円の純利益を生じており、資本的収支における収入の不足額3億9,797万8,666円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,593万5,269円、減債積立金590万1,601円及び過年度分損益勘定留保資金3億7,614万1,796円で補てんされている。

前年度との業務状況を比較すると次表のとおりである。

区 分	平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比		
			増 減 (ウ)=(ア)-(イ)	伸び率 (ウ)/(イ)×100	
給水人口(人)	54,570	54,686	△ 116	△ 0.21	
給水戸数(戸)	24,423	24,222	201	0.83	
配 水 量	総 量 (m ³) (A)	7,976,230	7,702,355	273,875	3.56
	1 日最大 (m ³)	24,796	24,256	540	2.23
	1 日平均 (m ³)	21,853	21,102	751	3.56
有収水量 (m ³) (B)	6,187,082	6,163,788	23,294	0.38	
有 収 率 (%) (B) / (A)	77.57	80.02	△ 2.45	△ 3.06	

2 予算及び決算

予算の執行状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

(収 入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 決算額の増減	収 入 率	備 考
	円	円	円	%	
水道事業収益	768,360,000	774,811,896	6,451,896	100.84	
営業収益	739,150,000	745,825,237	6,675,237	100.90	うち消費税及び地方消費税35,210,719円
営業外収益	29,210,000	28,796,859	△ 413,141	98.59	うち消費税及び地方消費税1,002,931円
特別利益	0	189,800	189,800	—	

(支 出)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度 繰越額	不 用 額	執 行 率	備 考
	円	円	円	円	%	
水道事業費用	756,277,000	715,270,633	0	41,006,367	94.58	
営業費用	627,983,000	592,754,229	0	35,228,771	94.39	うち消費税及び地方消費税8,541,277円
営業外費用	126,084,000	121,602,379	0	4,481,621	96.45	うち消費税及び地方消費税11,676,780円
特別損失	1,210,000	914,025	0	295,975	75.54	うち消費税及び地方消費税38,678円
予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	—	

【決算の前年度比較】

(収 入)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (C) = (A) - (B)	比率 (C) / (B) × 100
	円	%	円	%	円	%
水道事業収益	774,811,896	100.00	773,031,196	100.00	1,780,700	0.23
営業収益	745,825,237	96.25	741,176,924	95.88	4,648,313	0.63
給 水 収 益	611,679,813	78.94	608,596,737	78.73	3,083,076	0.51
簡易水道給水収益	117,053,423	15.11	116,726,387	15.10	327,036	0.28
その他営業収益	17,092,001	2.21	15,853,800	2.05	1,238,201	7.81
営業外収益	28,796,859	3.72	31,740,272	4.11	△ 2,943,413	△ 9.27
受取利息及び配当金	1,413,713	0.19	1,896,343	0.25	△ 482,630	△ 25.45
他会計補助金	6,290,600	0.81	6,916,779	0.89	△ 626,179	△ 9.05
雑 収 益	21,092,546	2.72	22,927,150	2.97	△ 1,834,604	△ 8.00
特別利益	189,800	0.02	114,000	0.01	75,800	66.49

(支 出)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (C) = (A) - (B)	比率 (C)/(B) ×100
水道事業費用	円 715,270,633	% 100.00	円 732,722,133	% 100.00	円 △ 17,451,500	% △ 2.38
営業費用	592,754,229	82.87	595,554,118	81.28	△ 2,799,889	△ 0.47
原水及び浄水費	83,348,862	11.65	77,463,460	10.57	5,885,402	7.60
配水及び給水費	50,834,700	7.11	56,390,351	7.70	△ 5,555,651	△ 9.85
簡易水道費	68,119,687	9.52	59,873,396	8.17	8,246,291	13.77
総 係 費	89,347,736	12.49	102,293,588	13.96	△ 12,945,852	△ 12.66
減価償却費	289,187,041	40.43	288,230,609	39.34	956,432	0.33
資産減耗費	11,916,203	1.67	11,302,714	1.54	613,489	5.43
その他営業費用	0	0.00	0	0.00	0	—
営業外費用	121,602,379	17.00	136,043,537	18.57	△ 14,441,158	△ 10.62
支払利息及び 企業債取扱諸費	102,009,402	14.26	110,723,163	15.11	△ 8,713,761	△ 7.87
繰延勘定償却	7,801,900	1.09	9,554,296	1.31	△ 1,752,396	△ 18.34
雑 支 出	116,777	0.02	96,778	0.01	19,999	20.66
消費税及び地方消費税	11,674,300	1.63	15,669,300	2.14	△ 3,995,000	△ 25.50
特別損失	914,025	0.13	1,124,478	0.15	△ 210,453	△ 18.72
過年度損益修正損	914,025	0.13	1,124,478	0.15	△ 210,453	△ 18.72

収益的収入の決算額は7億7,481万1,896円で、予算額7億6,836万円に対し645万1,896円の増である。

前年度と比較すると178万700円(0.23パーセント)の増となっており、この主な理由は、営業外収益の雑収益が183万4,604円(8.00パーセント)減少したが、給水収益が308万3,076円(0.51パーセント)増加したこと等によるものである。

収益的支出の決算額は7億1,527万633円で、予算額7億5,627万7,000円に対し4,100万6,367円の不用額が生じている。

前年度と比較すると1,745万1,500円(2.38パーセント)の減となっており、この主な理由は、営業費用の配水及び給水費が555万5,651円(9.85パーセント)、総係費が1,294万5,852円(12.66パーセント)、営業外費用の支払利息及び企業債取扱諸費が871万3,761円(7.87パーセント)、繰延勘定償却が175万2,396円(18.34パーセント)、消費税及び地方消費税が399万5,000円(25.50パーセント)減少したこと等によるものである。

(2) 資本的収入及び支出

(収 入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 決算額の増減	収 入 率	備 考
水 道 事 業 資 本 的 収 入	円 175,227,000	円 154,948,123	円 △ 20,278,877	% 88.43	
工 事 負 担 金	31,100,000	14,270,850	△ 16,829,150	45.89	
企 業 債	130,000,000	126,600,000	△ 3,400,000	97.38	
補 助 金	14,077,000	14,077,273	273	100.00	
固定資産売却代金	50,000	0	△ 50,000	—	

(支 出)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	執行率	備 考
水 道 事 業 資 本 的 支 出	円 631,108,000	円 552,926,789	円 10,000,000	円 68,181,211	% 87.61	
建 設 改 良 費	454,169,000	375,988,502	10,000,000	68,180,498	82.79	うち消費税及び 地方消費税 16,051,437円
企 業 債 償 還 金	176,939,000	176,938,287	0	713	100.00	

資本的収入の決算額は1億5,494万8,123円で、その主なものは、国道・県道の新設改良工事や下水道整備事業に伴う配水管布設替等、及び消火栓新設工事に係る工事負担金1,427万850円、簡易水道経営健全化対策事業補助金等の一般会計補助金1,407万7,273円である。

資本的支出の決算額は5億5,292万6,789円で、その主なものは、建設改良費の施設整備事業費の大川内地区簡易水道施設整備事業（電気設備工事及び機械設備工事）、県道出水高尾野線配水管整備工事等の工事請負費3億506万2,250円、企業債元金償還金1億7,693万8,287円である。

(3) 企 業 債

借入及び償還状況は、次表のとおりである。

前 年 度 末 残 高	当 年 度 借 入 額	当 年 度 償 還 高	当 年 度 末 残 高
円	円	円	円
4,602,733,066	126,600,000	176,938,287	4,552,394,779

(4) 一 時 借 入 金

一時借入れはなされていない。

(5) 流用禁止事項

議会の議決を経なければ流用することができない経費は職員給与費であるが、次表のとおり予算の範囲内で執行されている。

区	分	予 算 額	執 行 済 額	不 用 額	執 行 率
職員給与費		円 138,553,000	円 135,506,360	円 3,046,640	% 97.80

(6) たな卸資産購入限度額

たな卸資産購入限度額538万4,000円に対し、執行済額176万4,270円であり、購入限度額の範囲内で執行されている。

3 資金の運用及び保管状況

当年度末の現金預金残高は11億2,807万8,695円で、この内訳は、定期預金10億円、普通預金1億2,801万8,695円及び釣銭用現金6万円となっている。

4 損益計算書

損益勘定における営業収益は7億1,061万4,518円、営業費用は5億8,421万2,952円で、営業収支においては1億2,640万1,566円の利益が生じているが、営業外収支において8,219万3,426円の損失、特別損失において68万5,547円の損失が生じているため、当年度純利益は4,352万2,593円となっている。

収益及び費用を比較すると、次表のとおりである。

年度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)		損 益 (A) - (B)	収 支 比 率 (A) / (B) × 100
	金 額	対前年度比	金 額	対前年度比		
	円	%	円	%	円	%
25	738,598,355	100.22	695,075,762	98.09	43,522,593	106.26
24	737,013,615	99.79	708,642,499	96.72	28,371,116	104.00

なお、比較損益計算書は、別表1-1（16ページ）のとおりである。

5 剰余金計算書及び剰余金処分計算書

(1) 利益剰余金

ア 減債積立金

減債積立金の当年度末残高は、前年度末残高590万1,601円に前年度繰入額2,837万1,116円を加え、当年度処分数額590万1,601円を差し引いた2,837万1,116円である。

イ 未処分利益剰余金

当年度未処分利益剰余金は、前年度未処分利益剰余金2,837万1,116円を全て減債積立金に積立させているため、当年度純利益の4,352万2,593円である。

(2) 資本剰余金

資本剰余金の当年度末残高は、前年度末残高19億9,472万6,669円に当年度発生高9,195万8,915円を加えた20億8,668万5,584円である。

ア 国庫補助金

国庫補助金の当年度末残高は、当年度発生高及び当年度処分数額がないため前年度末残高1億3,603万9,232円と同額である。

イ 県補助金

県補助金の当年度末残高は、当年度発生高及び当年度処分数額がないため前年度末残高637万6,894円と同額である。

ウ 一般会計補助金

一般会計補助金の当年度末残高は、前年度末残高2億5,288万8,573円に当年度発生高1,407万7,273円を加えた2億6,696万5,846円である。

エ 一般会計出資金

一般会計出資金の当年度末残高は、当年度発生高及び当年度処分数額がないため前年度末残高3億1,412万3,888円と同額である。

オ 補償金

補償金の当年度末残高は、当年度発生高及び当年度処分数額がないため前年度末残高1億2,123万1,363円と同額である。

カ 工事分担金

工事分担金の当年度末残高は、当年度発生高及び当年度処分額がないため前年度末残高1, 192万8, 830円と同額である。

キ 工事負担金

工事負担金の当年度末残高は、前年度末残高10億6, 600万7, 389円に当年度発生高1, 427万850円を加えた10億8, 027万8, 239円である。

ク 受贈財産評価額

受贈財産評価額の当年度末残高は、前年度末残高8, 509万8, 000円に当年度発生高6, 361万792円を加えた1億4, 870万8, 792円である。

ケ 寄附金

寄附金の当年度末残高は、当年度発生高及び当年度処分額がないため前年度末残高103万2, 500円と同額である。

(3) 利益剰余金の処分

当年度未処分利益剰余金4, 352万2, 593円については、建設改良積立金に全額積立てようとするものである。

6 貸借対照表

貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、年度末現在におけるすべての資産、負債及び資本を総括的に表示するものである。

勘定科目別の前年度との比較は、次表のとおりである。

(消費税抜き)

区 分	平成25年度		平成24年度		増	減	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (C) = (A) - (B)	比 率 (C) / (B) ×100	
	円	%	円	%	円	%	
資 産 の 部	固定資産	8,787,868,452	88.04	8,665,354,630	87.05	122,513,822	1.41
	流動資産	1,180,904,943	11.83	1,268,100,144	12.74	△ 87,195,201	△ 6.88
	繰延勘定	13,160,800	0.13	20,962,700	0.21	△ 7,801,900	△ 37.22
	資 産 合 計	9,981,934,195	100.00	9,954,417,474	100.00	27,516,721	0.28
負 債・ 資 本 の 部	固定負債	110,483,220	1.11	110,483,220	1.11	0	0.00
	流動負債	23,156,328	0.23	80,782,828	0.81	△ 57,626,500	△ 71.34
	負 債 合 計	133,639,548	1.34	191,266,048	1.92	△ 57,626,500	△ 30.13
	資 本 金	7,689,715,354	77.04	7,734,152,040	77.70	△ 44,436,686	△ 0.57
	剰 余 金	2,158,579,293	21.62	2,028,999,386	20.38	129,579,907	6.39
	資 本 合 計	9,848,294,647	98.66	9,763,151,426	98.08	85,143,221	0.87
	負 債・資 本 合 計	9,981,934,195	100.00	9,954,417,474	100.00	27,516,721	0.28

なお、比較貸借対照表は、別表1-2(18ページ)のとおりである。

(1) 資 産

資産合計は99億8,193万4,195円で、前年度と比較すると2,751万6,721円(0.28パーセント)の増である。

資産合計に対する割合は、固定資産が88.04パーセント、流動資産が11.83パーセント、繰延勘定が0.13パーセントとなっている。

(2) 負 債

負債合計は1億3,363万9,548円で、前年度と比較すると5,762万6,500円(30.13パーセント)の減少である。負債合計に対する割合は、固定負債が82.67パーセント、流動負債が17.33パーセントとなっている。

なお、流動負債のうち未払金は1,262万9,631円で、その内訳は営業未払金728万311円、その他未払金534万9,320円となっており、前年度と比較すると2,047万7,767円減少している。

(3) 資 本

資本合計は98億4,829万4,647円で、前年度と比較すると8,514万3,221円(0.87パーセント)の増である。資本合計に対する割合は、資本金が78.08パーセント、剰余金が21.92パーセントである。

7 未収金及び不納欠損処分

(1) 未収金

流動資産の中の営業未収金は4,855万850円で、そのほとんどが水道料金における未収金であり、前年度と比較すると66万1,677円減少している。その内訳は、現年度未収金4,509万2,153円、過年度未収金345万8,697円となっている。また、その他未収金は116万9円で、その内訳は配水管布設替工事負担金である。

区 分	平成25年度	平成24年度	対前年度比	
	金額(A)	金額(B)	増 減	伸び率
			(C)=(A)-(B)	(C)/(B) ×100
営業未収金	円 48,550,850	円 49,212,527	円 △ 661,677	% △ 1.34
現年度分	45,092,153	45,561,413	△ 469,260	△ 1.03
過年度分	3,458,697	3,651,114	△ 192,417	△ 5.27

(2) 不納欠損処分

当年度における不納欠損額は72万5,556円で、処分の理由は、納入義務者の行方不明及び死亡等により徴収不能となったもの等で、出水市水道事業給水条例第35条及び同事業会計規程第26条の規定により措置したものである。

8 経営状況の分析

(1) 流動比率

流動比率は、流動資産（現金預金、未収金、貯蔵品、前払金）が流動負債（未払金、前受金、預り金）に対してどの程度の割合であるかを示すもので、短期債務に対する支払能力を表している。当年度は5,099.8パーセント（標準比率200以上）であり、支払能力は十分あることを示している。

(2) 自己資本構成比率

自己資本の構成比率が高いほど経営の健全性が高いとされている。当年度の自己資本構成比率は53.1パーセントとなっている。

(3) 職員給与費対給水収益比率

職員給与費対給水収益比率は14.1パーセントとなっている。

(4) 施設利用率

1日配水能力37,010立方メートルに対し、1日平均配水量は21,853立方メートルで、当年度の施設利用率は59.0パーセントとなっている。

(5) 給水原価

当年度の給水原価は1立方メートル当たり112.2円となっており、前年度の114.8円と比較すると2.6円減少している。

(6) 供給単価

当年度の供給単価は1立方メートル当たり112.1円となっており、前年度の112.2円と比較すると0.1円増加している。

給水原価と供給単価の状況は、次のとおりである。

区 分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	対前年度比	
			増 減 (C)=(A)-(B)	伸び率 (C)/(B)×100
供給単価	円 112.2	円 112.1	円 0.1	% 0.09
給水原価	112.2	114.8	△ 2.6	△ 2.26
差 額	0.00	△ 2.70	2.70	—

経営分析 2 か年 の 比較 表

(消費税抜き)

区 分		算 式	平 成 2 5 年 度	平 成 2 4 年 度
1	流 動 比 率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	5,099.7	1,569.8
2	当 座 比 率	$\frac{\text{現 金 預 金} + \text{未 収 金}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	5,086.6	1,565.3
3	固 定 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金}} \times 100$	165.9	167.9
4	固 定 資 産 構 成 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固 定 資 産} + \text{流 動 資 産} + \text{繰 延 勘 定}} \times 100$	88.0	87.1
5	固 定 資 産 長 期 資 本 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固 定 負 債} + \text{資 本 金} + \text{剰 余 金}} \times 100$	88.2	87.8
6	固 定 負 債 構 成 比 率	$\frac{\text{固 定 負 債} + \text{借 入 資 本 金}}{\text{負 債} \cdot \text{資 本 合 計}} \times 100$	46.7	47.3
7	自 己 資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金}}{\text{負 債} \cdot \text{資 本 合 計}} \times 100$	53.1	51.8
8	自 己 資 本 回 転 率	$\frac{\text{営 業 収 益} - \text{受 託 工 事 収 益}}{\frac{\text{期 首}(\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金}) + \text{期 末}(\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金})}{2}}$	0.14	0.14
9	総 資 本 利 益 率	$\frac{\text{当 年 度 純 利 益}}{\frac{\text{期 首 負 債} \cdot \text{資 本 合 計} + \text{期 末 負 債} \cdot \text{資 本 合 計}}{2}} \times 100$	0.4	0.3
10	総 収 支 比 率	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	106.3	104.0
11	企 業 債 償 還 元 金 減 価 償 却 費 率 比	$\frac{\text{建 設 改 良 の た め の 企 業 債 償 還 元 金}}{\text{当 年 度 減 価 償 却 費}} \times 100$	61.2	86.7
12	職 員 給 与 対 給 水 収 益 比	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	14.1	15.3
13	利 子 担 負 率	$\frac{\text{支 払 利 息} + \text{企 業 債 取 扱 諸 費}}{\text{企 業 債} + \text{他 会 計 借 入 金} + \text{一 時 借 入 金}} \times 100$	2.2	2.4
14	施 利 用 設 率	$\frac{\text{1 日 平 均 配 水 量}}{\text{1 日 配 水 能 力}} \times 100$	59.0	57.5
15	給 水 原 価 (1 m ³ 当 たり)	$\frac{\text{経 常 費 用} - (\text{受 託 工 事 費} + \text{材 料 及 び 不 用 品 売 却 原 価} + \text{附 帯 事 業 費})}{\text{年 間 総 有 収 水 量 (m}^3\text{)}}$	112.2	114.8
16	資 本 費 (1 m ³ 当 たり)	$\frac{\text{減 価 償 却 費} + \text{企 業 債 利 息} + \text{受 水 費 中 資 本 費}}{\text{年 間 総 有 収 水 量 (m}^3\text{)}}$	63.2	64.7
17	供 給 単 価 (1 m ³ 当 たり)	$\frac{\text{給 水 収 益}}{\text{年 間 総 有 収 水 量 (m}^3\text{)}}$	112.2	112.1

9 む す び

以上、平成25年度の決算内容を分析し、審査の概要を述べてきた。当年度は、施設整備事業において、大川内地区簡易水道浄化施設整備事業の完成、県道出水高尾野線配水管整備工事、公共下水道事業等に伴う配水管敷設替工事等の施設の整備・拡充工事を実施している。また、一般地方道荒崎黒之浜港線地方特定道路整備工事に伴う配水管布設替工事のほか3件の工事を次年度に繰り越している。

事業の経営状態をみると、総収益は7億3,859万8,355円で、前年度と比較すると158万4,740円(0.22パーセント)増加している。総費用は6億9,507万5,762円で前年度と比較すると1,356万6,737円(1.91パーセント)減少している。収支差引きして、当年度の純利益は4,352万2,593円となり、前年度より1,515万1,477円(53.40パーセント)の増加となっている。この主な要因は、営業収益における給水収益及びその他営業収益の増加と、営業費用の人件費及び委託料の減少、営業外費用の支払利息及び企業債取扱諸費等が減少したことなどによるものである。

水道料金の未収金については、回収不能な未収金を不納欠損処理したことや徴収努力によって、過年度未収金が前年度と比較すると19万2,417円(5.27パーセント)減少している。受益者負担の公平性の確保と健全財政を維持するうえから更に効率的な徴収措置を講じるとともに、新たな未収金が発生しないよう早期徴収対策の強化に努められたい。

給水収益に直結する有収率については、前年度より水道事業全体で2.45ポイント下がって77.57パーセント、上水道事業は2.88ポイント下がって79.07パーセント、簡易水道事業は0.70ポイント下がって70.59パーセントとなっている。有収率は、施設の稼動状況がどの程度収益につながっているかを示す指標であるが、出水、高尾野、野田、いずれの地域も80パーセントを下回っていることから、上水道事業及び簡易水道事業において漏水対策の徹底等による有収率の向上に努め、水利用の効率化を図られたい。

水源の確保に取り組まれ、安定的な水の供給が図られているところであるが、少子高齢化による給水人口の減少や節水機器等の普及により、有収水量は更に減少することが予想される。また、老朽化した水源地施設等の更新等に要する経費の増大も懸念されることから、水道事業経営については今後も厳しい状況が予想される。

今後の水道事業経営については、「出水市水道事業基本計画（出水市水道ビジョン）」を基本とし、適切な維持管理やトータルコストの縮減及び平準化等を図りつつ、長期的視点に立った効率的な事業経営に努めるとともに、安心・安全で良質な水を安定的に供給できるよう努力されたい。

別表1-1

比較損益

科 目	平成25年度	平成24年度	増 減 (C)=(A)-(B)	構 成 比	
	(A)	(B)		平成 25年度	平成 24年度
営 業 収 益	円 710,614,518	円 706,145,967	円 4,468,551	% 96.21	% 95.81
給 水 収 益	582,552,199	579,615,935	2,936,264	78.87	78.64
簡 易 水 道 給 水 収 益	111,479,445	111,167,982	311,463	15.09	15.08
そ の 他 営 業 収 益	16,582,874	15,362,050	1,220,824	2.25	2.09
営 業 外 収 益	27,794,037	30,753,648	△ 2,959,611	3.76	4.17
受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,413,713	1,896,343	△ 482,630	0.19	0.26
他 会 計 補 助 金	6,290,600	6,916,779	△ 626,179	0.85	0.94
雑 収 益	20,089,724	21,940,526	△ 1,850,802	2.72	2.97
特 別 利 益	189,800	114,000	75,800	0.03	0.02
過 年 度 損 益 修 正	189,800	114,000	75,800	0.03	0.02
合 計	738,598,355	737,013,615	1,584,740	100.00	100.00

計 算 書

(消費税抜き)

科 目	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増 減 (C)=(A)-(B)	構 成 比	
				平成 25年度	平成 24年度
営 業 費 用	円 584,212,952	円 587,129,551	円 △ 2,916,599	% 84.05	% 82.85
原 水 及 び 浄 水 費	80,090,546	74,451,679	5,638,867	11.52	10.51
配 水 及 び 給 水 費	49,339,718	54,640,072	△ 5,300,354	7.10	7.71
簡 易 水 道 費	65,705,212	57,791,597	7,913,615	9.45	8.16
総 係 費	87,974,232	100,712,880	△ 12,738,648	12.66	14.21
減 価 償 却 費	289,187,041	288,230,609	956,432	41.61	40.67
資 産 減 耗 費	11,916,203	11,302,714	613,489	1.71	1.59
営 業 外 費 用	109,987,463	120,442,013	△ 10,454,550	15.82	17.00
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	102,009,402	110,723,163	△ 8,713,761	14.68	15.63
繰 延 勘 定 却 償	7,801,900	9,554,296	△ 1,752,396	1.12	1.35
雑 支 出	176,161	164,554	11,607	0.02	0.02
特 別 損 失	875,347	1,070,935	△ 195,588	0.13	0.15
過 年 度 損 益 修 正 損	875,347	1,070,935	△ 195,588	0.13	0.15
合 計	695,075,762	708,642,499	△ 13,566,737	100.00	100.00
当 年 度 純 利 益	43,522,593	28,371,116	15,151,477	—	—
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	43,522,593	28,371,116	15,151,477	—	—

科 目		借 方					
		平成25年度		平成24年度		対 前 年 度 比	
		金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	増 減 (C)=(A)-(B)	伸び率 (C)/(B) ×100
		円	%	円	%	円	%
資 産 の 部	固 定 資 産	8,787,868,452	88.04	8,665,354,630	87.05	122,513,822	1.41
	有形固定資産	8,787,462,452	88.04	8,664,948,630	87.05	122,513,822	1.41
	土 地	262,127,713	2.63	261,675,045	2.63	452,668	0.17
	建 物	87,392,425	0.88	74,200,070	0.75	13,192,355	17.78
	構 築 物	7,756,744,657	77.70	7,771,449,004	78.07	△ 14,704,347	△ 0.19
	機 械 及 び 装 置	649,373,066	6.51	548,710,138	5.51	100,662,928	18.35
	車両及び運搬具	2,360,842	0.02	3,005,872	0.03	△ 645,030	△ 21.46
	工具器具及び備品	29,463,749	0.30	5,908,501	0.06	23,555,248	398.67
	投 資	406,000	0.00	406,000	0.00	0	0.00
	出 資 金	406,000	0.00	406,000	0.00	0	0.00
	流 動 資 産	1,180,904,943	11.83	1,268,100,144	12.74	△ 87,195,201	△ 6.88
	現 金 預 金	1,128,078,695	11.30	1,213,097,429	12.19	△ 85,018,734	△ 7.01
	現 金	60,000	0.00	60,000	0.00	0	0.00
	預 金	1,128,018,695	11.30	1,213,037,429	12.19	△ 85,018,734	△ 7.01
	未 収 金	49,788,159	0.50	51,402,527	0.52	△ 1,614,368	△ 3.14
	営 業 未 収 金	48,550,850	0.49	49,212,527	0.50	△ 661,677	△ 1.34
	営 業 外 未 収 金	77,300	0.00	0	0.00	77,300	0.00
	そ の 他 未 収 金	1,160,009	0.01	2,190,000	0.02	△ 1,029,991	△ 47.03
	貯 蔵 品	3,038,089	0.03	3,600,188	0.03	△ 562,099	△ 15.61
	材 料	2,589,329	0.03	3,189,088	0.03	△ 599,759	△ 18.81
	量 水 器	448,760	0.00	411,100	0.00	37,660	9.16
	前 払 金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	前 払 金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	繰 延 勘 定	13,160,800	0.13	20,962,700	0.21	△ 7,801,900	△ 37.22
	開 発 費	13,160,800	0.13	20,962,700	0.21	△ 7,801,900	△ 37.22
	資 産 合 計	9,981,934,195	100.00	9,954,417,474	100.00	27,516,721	0.28

対 照 表

(消費税抜き)

科 目		貸		方		対 前 年 度 比		
		平成25年度		平成24年度		増 減		
		金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	(C)=(A)-(B)	伸び率 (C)/(B) ×100	
		円	%	円	%	円	%	
負 債 の 部	固 定 負 債	110,483,220	1.11	110,483,220	1.11	0	0.00	
	引 当 金	110,483,220	1.11	110,483,220	1.11	0	0.00	
	退職給与引当金	41,296,608	0.42	41,296,608	0.41	0	0.00	
	修繕引当金	69,186,612	0.69	69,186,612	0.70	0	0.00	
	流 動 負 債	23,156,328	0.23	80,782,828	0.81	△ 57,626,500	△ 71.34	
	未 払 金	12,629,631	0.12	33,107,398	0.33	△ 20,477,767	△ 61.85	
	営業未払金	7,280,311	0.07	14,274,893	0.14	△ 6,994,582	△ 49.00	
	その他未払金	5,349,320	0.05	18,832,505	0.19	△ 13,483,185	△ 71.60	
	預 り 金	10,526,697	0.11	47,675,430	0.48	△ 37,148,733	△ 77.92	
	負 債 合 計	133,639,548	1.34	191,266,048	1.92	△ 57,626,500	△ 30.13	
	資 本 の 部	資 本 金	7,689,715,354	77.04	7,734,152,040	77.70	△ 44,436,686	△ 0.57
		自 己 資 本 金	3,137,320,575	31.43	3,131,418,974	31.46	5,901,601	0.19
		繰 入 資 本 金	1,813,405,269	18.17	1,813,405,269	18.22	0	0.00
組 入 資 本 金		1,323,915,306	13.26	1,318,013,705	13.24	5,901,601	0.45	
借 入 資 本 金		4,552,394,779	45.61	4,602,733,066	46.24	△ 50,338,287	△ 1.09	
企 業 債		4,552,394,779	45.61	4,602,733,066	46.24	△ 50,338,287	△ 1.09	
剰 余 金		2,158,579,293	21.62	2,028,999,386	20.38	129,579,907	6.39	
資 本 剰 余 金		2,086,685,584	20.90	1,994,726,669	20.04	91,958,915	4.61	
国 庫 補 助 金		136,039,232	1.36	136,039,232	1.37	0	0.00	
県 補 助 金		6,376,894	0.06	6,376,894	0.06	0	0.00	
一般会計補助金		266,965,846	2.67	252,888,573	2.54	14,077,273	5.57	
一般会計出資金		314,123,888	3.15	314,123,888	3.16	0	0.00	
補 償 金		121,231,363	1.22	121,231,363	1.22	0	0.00	
工 事 分 担 金		11,928,830	0.12	11,928,830	0.12	0	0.00	
工 事 負 担 金		1,080,278,239	10.82	1,066,007,389	10.71	14,270,850	1.34	
受贈財産評価額		148,708,792	1.49	85,098,000	0.85	63,610,792	74.75	
寄 附 金		1,032,500	0.01	1,032,500	0.01	0	0.00	
利 益 剰 余 金	71,893,709	0.72	34,272,717	0.34	37,620,992	109.77		
減 債 積 立 金	28,371,116	0.28	5,901,601	0.06	22,469,515	380.74		
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	43,522,593	0.44	28,371,116	0.28	15,151,477	53.40		
資 本 合 計	9,848,294,647	98.66	9,763,151,426	98.08	85,143,221	0.87		
負 債 ・ 資 本 合 計	9,981,934,195	100.00	9,954,417,474	100.00	27,516,721	0.28		

病院事業会計

1 事業の概要

平成25年度の病院事業は、地域で不足する一般医療、救急医療及び高度医療を提供するとともに、病病連携や病診連携を図りながら、地域の医療水準の維持・向上に努めている。

施設別にみると、出水総合医療センターでは、平成24年4月に設置した「消化器疾患センター」及びその他外来診療科を充実するため、施設再編の実施設計に着手している。また、平成25年4月から指導医師を招へいし、臨床研修医師等の受入体制を整備している。診断群類別包括支払制度(DPC)の導入、回復期リハビリテーション病棟の設置、7対1看護基準の取得等を実施して収益確保に努める一方、日本医療機能評価機構(審査体制区分3:Ver.6.0)の認定を受け、基幹病院として質の高い医療提供に努めるとともに、電子カルテシステムを導入し、より効率的で安全性の高い医療の提供に努めている。

高尾野診療所では、地域密着型の有床の診療所として医療を提供しており、入院患者数は僅かに増加したものの、外来患者数は大幅に減少している。

野田診療所では、外来診療のほか訪問診療、訪問看護を積極的に行い、在宅医療の充実に努めるとともに、夜間一次救急診療としての役割も担っている。

医療機器等の整備においては、出水総合医療センターでは、手術用顕微鏡(脳外科用)、血管内超音波画像診断装置等の導入により、質の高いより高度な医療の提供に努め、高尾野診療所では、デジタル画像診断システム、長時間心電用データレコーダー、野田診療所では、ホルター自動連続血圧計を導入し、機器の整備充実に努めている。

医師招へいの取組については、事業管理者を中心に、大学医局をはじめ九州内の医療機関等を精力的に訪問し、非常勤医師等を招へいしている。

出水総合医療センター等3施設の利用状況についてみると、患者数は延べ15万4,859人で、前年度と比較すると61人増加している。内訳をみると、入院患者は2,493人(4.0パーセント)の増、外来患者は2,297人(2.5パーセント)の減、夜間一次救急患者数は135人(9.3パーセント)の減となっている。また、入院患者の稼働病床利用率は78.1パーセントで、前年度に比べ3ポイント増加している。

経理面においては、入院収益総額は前年度に比べて5,191万4,795円（2.11パーセント）増加しており、また外来収益総額も前年度に比べて4,745万8,414円（5.20パーセント）増加している。患者1人1日当たり収入額の対前年度比では、入院収益で693円減少し、外来収益で803円増加している。

なお、資本的収支における収入の不足額8億2,183万7,306円については、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額725万1,312円、減債積立金141万4,241円及び過年度分損益勘定留保資金8億1,317万1,753円で補てんされている。

(1) 業務実績

区 分			出水総合医療センター			高尾野診療所			
			平成25年度	平成24年度	増減	平成25年度	平成24年度	増減	
病床数 (床)	病床数	一般	270	330	△ 60	19	19	0	
		感染症	4	4	0	0	0	0	
	稼働病床数	一般	211	211	0	19	19	0	
		感染症	4	4	0	0	0	0	
患者数	入院	診療日数(日)	365	365	0	365	365	0	
		年間延人数(人)	60,143	58,324	1,819	5,429	4,755	674	
		1日平均(人)	165	160	5	15	13	2	
	外来	診療日数(日)	244	245	△ 1	244	245	△ 1	
		年間延人数(人)	57,170	56,184	986	18,906	22,178	△ 3,272	
		1日平均(人)	234	229	5	78	91	△ 13	
	夜間一次救急	診療日数(日)	/	/	/	/	/	/	
		年間延人数(人)	/	/	/	/	/	/	
		1日平均(人)	/	/	/	/	/	/	
	年間延人数(人)			117,313	114,508	2,805	24,335	26,933	△ 2,598
	稼働病床(一般)利用率(%)			78.1	75.7	2.4ポイント	78.3	68.6	9.7ポイント
	項目別収益 (円) (税込)	入院	収益額	2,434,526,910	2,387,895,987	46,630,923	82,224,814	76,934,170	5,290,644
患者1人1日 当たり収入			40,479	40,942	△ 463	15,145	16,180	△ 1,035	
外来		収益額	739,797,991	681,508,763	58,289,228	102,798,756	121,020,750	△ 18,221,994	
		患者1人1日 当たり収入	12,940	12,130	810	5,437	5,457	△ 20	
その他医業		収益額	76,505,624	87,391,617	△ 10,885,993	8,555,925	7,839,673	716,252	
医業収益額合計			3,250,830,525	3,156,796,367	94,034,158	193,579,495	205,794,593	△ 12,215,098	
付帯事業 夜間一次 救急外来		収益額	/	/	/	/	/	/	
	患者1人1日 当たり収入	/	/	/	/	/	/		

※その他医業・・・入院室加算料、人間ドック、予防接種、定期健診、文書料、一般検診、その他

※出水総合医療センターの病床数は、平成26年2月までは330床、3月以降は270床となっている。

野田診療所			合 計		
平成25年度	平成24年度	増減	平成25年度	平成24年度	増減
			289	349	△ 60
			4	4	0
			230	230	0
			4	4	0
			365	365	0
			65,572	63,079	2,493
			180	173	7
244	245	△ 1	245	245	0
11,902	11,913	△ 11	87,978	90,275	△ 2,297
49	49	0	359	369	△ 9
365	365	0	365	365	0
1,309	1,444	△ 135	1,309	1,444	△ 135
4	4	△ 0	4	4	0
13,211	13,357	△ 146	154,859	154,798	61
			78.1	75.1	3.0ポイント
			2,516,751,724	2,464,830,157	51,921,567
			38,382	39,075	△ 693
118,352,179	111,081,393	7,270,786	960,948,926	913,610,906	47,338,020
9,944	9,324	620	10,923	10,120	803
3,531,129	3,010,129	521,000	88,592,678	98,241,419	△ 9,648,741
121,883,308	114,091,522	7,791,786	3,566,293,328	3,476,682,482	89,610,846
8,570,562	9,699,795	△ 1,129,233	8,570,562	9,699,795	△ 1,129,233
6,547	6,717	△ 170	6,547	6,717	△ 170

(2) 職員数

		出水総合医療センター			高尾野診療所			野田診療所			合計		
		25年度	24年度	増減	25年度	24年度	増減	25年度	24年度	増減	25年度	24年度	増減
医 師	内 科	9	9	0	1	1	0	1	1	0	11	11	0
	外 科	3	3	0	1	1	0				4	4	0
	産 婦 人 科	0	0	0							0	0	0
	小 児 科	2	2	0							2	2	0
	整 形 外 科	1	1	0							1	1	0
	脳 神 経 外 科	3	3	0							3	3	0
	眼 科	0	0	0							0	0	0
	皮 膚 科	0	0	0							0	0	0
	麻 酔 科	2	2	0							2	2	0
	泌 尿 器 科	0	0	0							0	0	0
	放 射 線 科	1	1	0							1	1	0
	健 康 管 理 科	1	0	1							1	0	1
	小 計	22	21	1	2	2	0	1	1	0	25	24	1
看 護 職 員	助 産 師	6	6	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0
	看 護 師	130	127	3	7	7	0	3	3	0	140	137	3
	准 看 護 師	4	4	0	1	1	0	0	0	0	5	5	0
	小 計	140	137	3	8	8	0	3	3	0	151	148	3
医 療 技 術 職 員	薬 剤 師	7	7	0	1	1	0	0	0	0	8	8	0
	管 理 栄 養 士	3	3	0	1	1	0	0	0	0	4	4	0
	臨 床 検 査 技 師	9	10	△ 1	1	1	0	1	1	0	11	12	△ 1
	放 射 線 技 師	9	8	1	1	1	0	0	0	0	10	9	1
	理 学 療 法 士	13	10	3							13	10	3
	作 業 療 法 士	10	8	2							10	8	2
	言 語 聴 覚 士	4	3	1							4	3	1
	臨 床 工 学 技 士	3	3	0							3	3	0
	小 計	58	52	6	4	4	0	1	1	0	63	57	6
事 務 技 術 職 員	27	25	2	3	3	0	1	1	0	31	29	2	
技 能 労 務 職 員	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	
合 計	249	237	12	17	17	0	6	6	0	272	260	12	

※職員数は、非常勤医師及び臨時職員等を含まない。

(3) 診療科等別収益比較 (過去2年間)

(単位：円、% 消費税込)

区 分	医 療 セ ン ター 名 等	平成25年度		平成24年度		増 減	
		金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (C) = (A) - (B)	比 率 (C) / (B) × 100
		円	%	円	%	円	%
内 科	出 水	1,081,819,872	31.03	1,083,986,302	31.99	△ 2,166,430	△ 0.20
外 科	出 水	589,905,763	16.92	522,623,767	15.42	67,281,996	12.87
整 形 外 科	出 水	369,090,181	10.59	370,693,433	10.94	△ 1,603,252	△ 0.43
脳 神 経 外 科	出 水	715,952,522	20.54	600,570,591	17.73	115,381,931	19.21
小 児 科	出 水	151,518,234	4.35	143,748,974	4.24	7,769,260	5.40
麻 酔 科	出 水	2,297,307	0.07	1,906,207	0.06	391,100	20.52
放 射 線 科	出 水	65,040,898	1.86	65,045,375	1.92	△ 4,477	△ 0.01
リハビリテーション科	出 水	112,770,561	3.23	153,562,764	4.53	△ 40,792,203	△ 26.56
そ の 他	出 水	85,929,563	2.46	127,267,337	3.76	△ 41,337,774	△ 32.48
小 計	出 水	3,174,324,901	91.05	3,069,404,750	90.59	104,920,151	3.42
内 科 ・ 外 科	高 尾 野	185,023,570	5.31	197,954,920	5.84	△ 12,931,350	△ 6.53
内 科	野 田	118,352,179	3.39	111,081,393	3.28	7,270,786	6.55
夜間一次救急	野 田	8,570,562	0.25	9,699,795	0.29	△ 1,129,233	△ 11.64
合 計		3,486,271,212	100.00	3,388,140,858	100.00	98,130,354	2.90

2 予算及び決算

予算の執行状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出（税込）

(収 入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 決算額の増減	収 入 率	備 考
事 業 収 益	円 4,158,550,000	円 4,229,565,966	円 71,015,966	% 101.71	
医 業 収 益	3,502,768,000	3,566,293,328	63,525,328	101.81	うち仮受消費税及び地方消費税 4,536,082円
医 業 外 収 益	616,730,000	623,900,689	7,170,689	101.16	うち仮受消費税及び地方消費税 1,065,287円
附 帯 事 業 収 益	25,712,000	26,031,949	319,949	101.24	
特 別 利 益	13,340,000	13,340,000	0	100.00	

(支 出)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度 繰越額	不 用 額	執 行 率	備 考
事 業 費 用	円 4,423,872,000	円 4,305,489,869	円 0	円 118,382,131	% 97.32	
医 業 費 用	3,889,615,000	3,775,678,650	0	113,936,350	97.07	うち仮払消費税及び地方消費税 42,265,339円
医 業 外 費 用	376,407,000	373,097,466	0	3,309,534	99.12	
附 帯 事 業 費 用	27,977,000	26,841,919	0	1,135,081	95.94	うち仮払消費税及び地方消費税 379,383円
特 別 損 失	129,873,000	129,871,834	0	1,166	100.00	

【決算の前年度比較（税込）】

（収 入）

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (C) = (A) - (B)	比率 (C)/(B) ×100
	円	%	円	%	円	%
事業収益	4,229,565,966	100.00	4,175,558,781	100.00	54,007,185	1.29
医業収益	3,566,293,328	84.31	3,476,682,482	83.26	89,610,846	2.58
入院収益	2,516,751,724	59.50	2,464,830,157	59.03	51,921,567	2.11
外来収益	960,948,926	22.72	913,610,906	21.88	47,338,020	5.18
その他医業収益	88,592,678	2.09	98,241,419	2.35	△ 9,648,741	△ 9.82
医業外収益	623,900,689	14.75	675,847,280	16.19	△ 51,946,591	△ 7.69
受取利息配当金	759,915	0.02	604,914	0.02	155,001	25.62
他会計負担金	578,693,000	13.68	627,110,000	15.02	△ 48,417,000	△ 7.72
その他医業外収益	44,447,774	1.05	48,132,366	1.15	△ 3,684,592	△ 7.66
附帯事業収益	26,031,949	0.62	23,029,019	0.55	3,002,930	13.04
夜間一次救急 診療所収益	26,031,949	0.62	23,029,019	0.55	3,002,930	13.04
特別利益	13,340,000	0.32	0	0.00	13,340,000	皆 増
過年度損益修正益	13,340,000	0.32	0	0.00	13,340,000	皆 増

（支 出）

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (C) = (A) - (B)	比率 (C)/(B) ×100
	円	%	円	%	円	%
事業費用	4,305,489,869	100.00	4,145,388,071	100.00	160,101,798	3.86
医業費用	3,775,678,650	87.69	3,777,936,345	91.14	△ 2,257,695	△ 0.06
給 与 費	2,319,963,815	53.88	2,291,391,906	55.28	28,571,909	1.25
材 料 費	605,135,186	14.05	623,894,785	15.05	△ 18,759,599	△ 3.01
経 費	586,346,816	13.62	576,340,086	13.90	10,006,730	1.74
減 価 償 却 費	245,049,069	5.69	250,166,970	6.04	△ 5,117,901	△ 2.05
資 産 減 耗 費	7,700,234	0.18	11,143,654	0.27	△ 3,443,420	△ 30.90
研 究 研 修 費	11,483,530	0.27	24,998,944	0.60	△ 13,515,414	△ 54.06
医業外費用	373,097,466	8.67	340,711,496	8.22	32,385,970	9.51
支 払 利 息	134,851,166	3.13	145,177,547	3.50	△ 10,326,381	△ 7.11
繰 延 勘 定 償 却	195,432,402	4.54	149,336,297	3.60	46,096,105	30.87
雑 損 失	42,813,898	1.00	46,197,652	1.12	△ 3,383,754	△ 7.32
附帯事業費用	26,841,919	0.62	26,740,230	0.64	101,689	0.38
夜間一次救急 診療所費用	26,841,919	0.62	26,740,230	0.64	101,689	0.38
特別損失	129,871,834	3.02	0	0.00	129,871,834	皆 増
過年度損益修正損	129,871,834	3.02	0	0.00	129,871,834	皆 増

収益的収入の決算額は42億2,956万5,966円で、予算額41億5,855万円に対し7,101万5,966円の増加である。

前年度と比較すると5,400万7,185円(1.29パーセント)の増となっている。この主な理由は、他会計負担金が4,841万7,000円減少したものの、入院収益が5,192万1,567円、外来収益が4,733万8,020円増加したことによるものである。

収益的支出の決算額は43億548万9,869円で、予算額44億2,387万2,000円に対し1億1,838万2,131円の不用額が生じている。

前年度と比較すると1億6,010万1,798円(3.86パーセント)の増となっており、この主な理由は、医業外費用の繰延勘定償却が4,609万6,105円、特別損失の過年度損益修正損が1億2,987万1,834円増加したことによるものである。

(2) 資本的収入及び支出(税込)

(収入)

区	分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 決算額の増減	収 入 率	備 考
		円	円	円	%	
資 本 的 収 入		672,018,000	656,818,000	△ 15,200,000	97.74	
企 業 債		159,080,000	143,900,000	△ 15,180,000	90.46	
出 資 金		110,088,000	110,088,000	0	100.00	
他会計からの長期 借 入 金		400,000,000	400,000,000	0	100.00	
固 定 資 産 売 却 代 金		1,000	0	△ 1,000	0	
県 補 助 金		369,000	350,000	△ 19,000	94.85	
負 担 金		2,480,000	2,480,000	0	100.00	

(支 出)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度 繰越額	不 用 額	執 行 率	備 考
資 本 的 支 出	円 1,490,568,000	円 1,478,655,306	円 6,272,000	円 5,640,694	% 99.20	
建設改良費	163,586,000	152,277,562	6,272,000	5,036,438	93.09	うち仮払消費税及び地方消費税 7,251,312円
企業債 償 還 金	408,692,000	408,689,730	0	2,270	100.00	
他会計からの 長期借入金 償 還 金	666,000,000	666,000,000	0	0	100.00	
出資金及び 貸 付 金	16,240,000	15,640,000	0	600,000	96.31	
現金の支出を 伴う繰延勘定	236,050,000	236,048,014	0	1,986	100.00	

資本的収入の決算額は6億5,681万8,000円で、その主なものは、次のとおりである。

企業債	(医療器械及び備品購入関係)	143,900,000 円
出資金	(企業債元金償還分として一般会計より)	110,088,000 円
他会計からの長期借入金	(一般会計より)	400,000,000 円

資本的支出の決算額は14億7,865万5,306円で、支出の主なものは、次のとおりである。

建設改良費

固定資産購入費

医療器械購入費	122,599,438 円
(手術用顕微鏡(脳神経外科用)、血管内超音波画像診断装置等)	

備品購入費	24,282,174 円
(自動精算機システム、ベルトコンベア食器洗浄機等)	

企業債償還金	408,689,730 円
--------	---------------

他会計からの長期借入金償還金	666,000,000 円
----------------	---------------

現金の支出を伴う繰延勘定	
--------------	--

退職給与金	236,048,014 円
-------	---------------

翌年度繰越額は627万2000円で、建設改良費の出水総合医療センター内部改修実施設計業務である。

(3) 企業債

借入及び償還状況は、次表のとおりである。

前年度末残高	当年度借入高	当年度償還高	当年度末残高
円	円	円	円
3,705,244,061	143,900,000	408,689,730	3,440,454,331

(4) 一時借入金

当年度の借入れはなされていない。

(5) 流用禁止事項

議会の議決を経なければ流用することができない経費は、職員給与費と交際費であるが、次表のとおりいずれも予算の範囲内で執行されている。

区 分	予 算 額	執 行 済 額	不 用 額	執 行 率
	円	円	円	%
職 員 給 与 費	2,342,955,000	2,302,138,815	40,816,185	98.26
交 際 費	710,000	597,549	112,451	84.16

(6) たな卸資産購入限度額

たな卸資産購入限度額3億1,584万7,000円に対し、執行済額2億8,166万8,773円であり、購入限度額の範囲内で執行されている。

3 資金の運用及び保管状況

当年度末の現金預金残高は10億2,946万4,052円で、この内訳は、定期預金4億円、普通預金6億2,896万4,052円及び釣銭用現金50万円となっており、年度末の例月出納検査結果と一致している。

4 損益計算書

損益勘定における医業収益は35億6,175万7,246円であり、医業費用が37億3,341万3,311円であるので、医業収支は1億7,165万6,065円の損失を生じている。

また、医業外収支においては特別損失として、1億2,987万1,834円の過年度損益修正損が生じたため、当年度純損失は7,656万884円となっている。

その理由として、建物の償却年数等の修正により生じた過年度の減価償却費計上不足額を特別損失として計上したためである。

過去2年間の収益及び費用を比較すると次表のとおりである。

(消費税抜き)

年度	総収益 (A)		総費用 (B)		損益 (A) - (B)	収支比率 (A) / (B) × 100
	金額	対前年度比	金額	対前年度比		
	円	%	円	%	円	%
25	4,223,964,597	101.32	4,300,525,481	103.88	△ 76,560,884	98.22
24	4,169,069,876	105.07	4,139,699,297	105.53	29,370,579	100.71
増減	54,894,721		160,826,184		△ 105,931,463	ポイント △ 2.49

なお、比較損益計算書は、別表2-1(40ページ)のとおりである。

5 剰余金計算書及び欠損金処理計算書

(1) 利益剰余金

減債積立金、利益積立金及び建設改良積立金の積立金合計額は1,565万2,730円で、前年度から141万4,241円減少している。

ア 減債積立金

減債積立金の当年度末残高は、前年度末残高875万4,129円から当年度処分量141万4,241円を差し引いた733万9,888円である。

イ 利益積立金

利益積立金の当年度末残高は、前年度繰入額及び当年度処分額がないため前年度末残高と同じ0円である。

ウ 建設改良積立金

建設改良積立金の当年度末残高は、前年度繰入額及び当年度処分額がないため前年度末残高831万2,842円と同額である。

エ 欠損金

当年度未処理欠損金は、前年度未処理欠損金54億4,789万2,505円に当年度純損失7,656万884円を加えた55億2,445万3,389円である。

(2) 資本剰余金

資本剰余金の当年度末残高は、前年度末残高5億3,056万77円に当年度発生高283万円を加えた5億3,390万77円である。

ア 補助金

補助金の当年度末残高は、前年度末残高4億7,677万5,142円に、当年度発生高35万円を加えた4億7,712万5,142円である。

イ 受贈財産評価額

受贈財産評価額の当年度末残高は、当年度発生高がないため前年度末残高4,458万3,981円と同額である。

ウ 寄附金

寄附金の当年度末残高は、前年度処分額、当年度発生額及び当年度処分額がないため前年度末残高748万2,000円と同額である。

エ その他剰余金

その他剰余金の当年度末残高は、前年度処分高171万8,954円に、当年度発生高248万円を加えた419万8,954円である。

(3) 欠損金の処理

当年度未処理欠損金55億2,445万3,389円は、翌年度繰越欠損金として処理している。

6 貸借対照表

貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、年度末現在におけるすべての資産、負債及び資本を総括的に表示するものである。

平成25年度の勘定科目別の比較は、次表のとおりである。

(消費税抜き)

区 分	平成25年度		平成24年度		増 減		
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	金額 (C)=(A)-(B)	比率 (C)/(B) ×100	
資産の部	円	%	円	%	円	%	
	固定資産	3,923,676,010	62.91	4,133,780,282	60.96	△ 210,104,272	△ 5.08
	流動資産	1,602,697,841	25.69	1,976,623,704	29.15	△ 373,925,863	△ 18.92
	繰延勘定	710,911,520	11.40	670,295,908	9.89	40,615,612	6.06
資産合計	6,237,285,371	100.00	6,780,699,894	100.00	△ 543,414,523	△ 8.01	
負債・資本の部	固定負債	1,342,613,440	21.53	1,654,316,235	24.40	△ 311,702,795	△ 18.84
	流動負債	162,458,742	2.60	165,737,856	2.44	△ 3,279,114	△ 1.98
	負債合計	1,505,072,182	24.13	1,820,054,091	26.84	△ 314,981,909	△ 17.31
	資本金	9,707,623,771	155.64	9,860,911,260	145.43	△ 153,287,489	△ 1.55
	剰余金	△ 4,975,410,582	△ 79.77	△ 4,900,265,457	△ 72.27	△ 75,145,125	△ 1.53
	資本合計	4,732,213,189	75.87	4,960,645,803	73.16	△ 228,432,614	△ 4.60
	負債・資本合計	6,237,285,371	100.00	6,780,699,894	100.00	△ 543,414,523	△ 8.01

なお、平成25年度末現在における貸借対照表は、別表2-2(42ページ)のとおりである。

(1) 資 産

資産合計は62億3,728万5,371円で、施設別の内訳は出水総合医療センター55億5,331万4,819円(89.03パーセント)、高尾野診療所3億8,282万517円(6.14パーセント)、野田診療所3億115万35円(4.83パーセント)となっている。

資産合計に対する割合は、固定資産62.91パーセント、流動資産25.69パーセント、繰延勘定11.40パーセントである。

(2) 負 債

負債合計は15億507万2,182円で、施設別の内訳は出水総合医療センター11億2,367万782円(74.66パーセント)、高尾野診療所5,450万8,007円(3.62パーセント)、野田診療所3億2,689万3,393円(21.72パーセント)となっている。

負債合計に対する割合は、固定負債 89.21 パーセント、流動負債 10.79 パーセントである。

なお、流動負債の未払金は 1 億 4,760 万 9,421 円で、その内訳は医業未払金 9,932 万 5,662 円、その他未払金 4,673 万 3,959 円及び未払消費税 154 万 9,800 円である。

(3) 資 本

資本合計は 47 億 3,221 万 3,189 円で、施設別の内訳は出水総合医療センター 44 億 2,964 万 4,037 円 (93.60 パーセント)、高尾野診療所 3 億 2,831 万 2,510 円 (6.94 パーセント)、野田診療所はマイナス 2,574 万 3,358 円 (Δ 0.54 パーセント) となっている。

資本合計に対する割合は、資本金 205.14 パーセント、剰余金マイナス 105.14 パーセントである。

資本金は 97 億 762 万 3,771 円で、その内訳は自己資本金 62 億 6,716 万 9,440 円、借入資本金 (企業債) 34 億 4,045 万 4,331 円である。

剰余金はマイナス 49 億 7,541 万 582 円で、その内訳は資本剰余金 5 億 3,339 万 77 円、利益剰余金 1,565 万 2,730 円及び欠損金 55 億 2,445 万 3,389 円である。

7 未収金及び不納欠損処分

(1) 未収金

流動資産の中の未収金は5億4,824万278円で、その内訳は医業未収金5億4,095万3,464円、医業外未収金583万9,000円、その他未収金144万7,814円である。

区 分	平成25年度	平成24年度	対前年度比	
	金額 (A)	金額 (B)	増 減 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)×100
未収金	円 548,240,278	円 554,491,989	円 △ 6,251,711	% △ 1.13
医業未収金	540,953,464	543,982,880	△ 3,029,416	△ 0.56
現年度分	525,647,030	523,494,590	2,152,440	0.41
保険者負担額	515,118,216	506,261,943	8,856,273	1.75
一部負担額	10,528,814	17,232,647	△ 6,703,833	△ 38.90
過年度分	15,306,434	20,488,290	△ 5,181,856	△ 25.29
保険者負担額	0	0	0	-
一部負担額	15,306,434	20,488,290	△ 5,181,856	△ 25.29
その他未収金	1,447,814	1,698,109	△ 250,295	△ 14.74
その他医業外未収金	5,839,000	8,811,000	△ 2,972,000	△ 33.73

(2) 不納欠損処分

当年度における不納欠損額は504万8,656円で、処分の理由は、納入義務者の行方不明及び死亡等により徴収不能となったもの等で、出水市病院事業診療費等の料金条例第4条及び同事業会計規程第21条の規定により措置したものである。

8 経営状況の分析

(1) 流動比率

流動比率は、流動資産（現金預金、未収金、貯蔵品等）が流動負債（未払金、預り金等）に対してどの程度の割合であるかを示すものであり、当年度は986.6パーセント（標準比率200以上）となっている。

(2) 自己資本構成比率

自己資本の構成比率が高いほど経営の健全性が高いとされていて、当年度の自己資本構成比率は20.7パーセントとなっている。

(3) 総資本利益率

公営企業に投下された資本が効率的に運用されているかどうかの判断基準として総資本利益率（当年度経常利益と資本金の比率）が用いられていて、当年度は0.6パーセントとなっている。

(4) 給与費対医業収益比率

当年度の給与費対医業収益比率は65.1パーセントとなっている。

経営分析 2 か年の比較表

(消費税抜き)

区 分		算 式	平成 25年度	平成 24年度
1	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	% 986.5	% 1192.6
2	当座比率	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	% 971.1	% 1181.3
3	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	% 303.7	% 329.3
4	固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	% 62.9	% 61.0
5	固定資産対 長期資本 比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{固定負債}} \times 100$	% 64.6	% 62.5
6	固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	% 76.7	% 79.0%
7	自己資本 構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	% 20.7	% 18.5%
8	自己資本	$\frac{\text{医業収益}}{\frac{\text{期首(自己資本金} + \text{剰余金)} + \text{期末(自己資本金} + \text{剰余金)}}{2}}$	回 2.8	回 2.9
9	総資本 利益率	$\frac{\text{当年度経常利益(損失)}}{\frac{\text{期首負債} \cdot \text{資本合計} + \text{期末負債} \cdot \text{資本合計}}{2}} \times 100$	% 0.6	% 0.4
10	総収支 比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	% 98.2	% 100.7
11	企業債 償還元金対 減価償却 比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	% 166.8	% 116.9
12	給与費 対医業収 益比率	$\frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	% 65.1	% 66.0
13	利子 負担率	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{他会計借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$	% 2.9	% 2.8
14	不良債 務比率	$\frac{\text{流動負債} - (\text{流動資産} - \text{翌年度繰越財源})}{\text{医業収益}} \times 100$	—	—
15	累積欠 損金比 率	$\frac{\text{累積欠損金}}{\text{医業収益}} \times 100$	% 155.1	% 156.9
16	資本的 収支の うち 補てん 財源 額	資本的収入 - 資本的支出 = △のとき補てん財源	千円 821,837	千円 517,989
17	企業債 償還残 額	前年度末現在額 + 当年度借入額 - 当年度償還額	千円 3,440,454	千円 3,705,244

9 む す び

以上、平成25年度の決算内容を分析し、審査の概要を述べてきたが、病院経営は依然として厳しい状況にある。

前年度に引き続き、他会計負担金や職員給与カット等、経費削減の努力により、平成25年度も経常的利益はあったが、建物の償却年数等の修正により、過年度減価償却費計上の不足額を特別損失として計上したため、当年度決算は7,656万884円の純損失が生じている。また、引き続き一般会計から4億円の長期借入を行っており、厳しい経営状況に変わりはない。

出水総合医療センターにおいては、医師不足を解消するために、病院事業管理者等を中心に精力的な訪問により、平成25年4月から指導医師を招へいし、臨床研修医師等の受入体制が整備された。また、年間延べ992人の非常勤等の医師が診療にあたることで診療科目の維持を図っている。

平成24年4月に設置された「消化器疾患センター」及びその他の外来診療科を充実させるために、施設再編の実施計画に着手していることから、今後更に常勤医師の招へいに努め、安定的な病院運営と基幹病院としての質の高い医療の提供に期待したい。

高尾野診療所においては、地域密着型の有床の診療所として医療を提供しており、入院患者数及び入院収益は僅かながら増加したが、外来患者数及び外来収益は大幅に減少している。

野田診療所においては、外来診療のほか訪問診療、訪問看護を積極的に行い在宅療養支援診療所として、在宅医療の充実に努めるとともに、平成23年度からは出水地区2市1町の夜間一次救急診療を行っており、地域医療においてこの診療所の果たす役割は重要である。

患者数については、入院延患者数は6万5,572人で、前年度に比べ2,493人(4.0パーセント)の増、外来延患者数は8万7,978人で、前年度に比べ2,297人(2.5パーセント)の減、夜間一次救急患者数は、1,309人で、前年度に比べ135人(9.3パーセント)減となっている。

経営状況をみると、総収益は42億2,396万4,597円で、前年度と比較すると5,489万4,721円(1.3パーセント)増加している。また、総費用は43億52万5,481円で、前年度と比較すると1億6,082万6,184円(3.9パーセント)増加しているが、主な理由として、医業外費用の繰延勘定償却が4,609万6,105円、特別損失の過年度損益修正損が1億2,987万1,834円増加したためである。

収支差引きでは7,656万884円の純損失となり、これにより当年度未処理欠損金は55億2,445万3,389円となっている。

未収金については、回収不能な未収金を不納欠損処理したことや徴収努力により過年度未収金が1,530万6,434円で、前年度と比較すると518万1,856円（マイナス25.29パーセント）減少している。今後も財政健全化の面から職員等による戸別訪問、窓口対応及び自動精算機システムの有効活用に努め、新たな未収金が発生しないよう万全の対策を講じられたい。

地域医療における自治体病院を取り巻く環境は依然として厳しく、本市の病院事業においても厳しい状況であるが、全職員が一丸となって経営改善に取り組んでいることは評価することができる。今後とも他の地域医療機関との連携を深めながら市民の医療機関として公共の福祉の増進と医療水準の向上を図り「出水市病院改革プラン」に基づき、更なる経営健全化に努力されるよう希望する。

別表2-1

比較損益

科 目	平成25年度	平成24年度	増 減 (C)=(A)-(B)	伸び率 (C)/(B) ×100	構 成 比	
	(A)	(B)			平 成 25年度	平 成 24年度
医 業 収 益	円 3,561,757,246	円 3,471,487,603	円 90,269,643	% 2.60	% 84.32	% 83.27
入院収益	2,516,720,214	2,464,805,419	51,914,795	2.11	59.58	59.12
外来収益	960,571,145	913,112,731	47,458,414	5.20	22.74	21.90
その他 医業収益	84,465,887	93,569,453	△ 9,103,566	△ 9.73	2.00	2.25
医 業 外 収 益	622,835,402	674,553,254	△ 51,717,852	△ 7.67	14.74	16.18
受取利息 配当金	759,915	604,914	155,001	25.62	0.02	0.02
他会計 負担金	578,693,000	627,110,000	△ 48,417,000	△ 7.72	13.70	15.04
その他 医業外収益	43,382,487	46,838,340	△ 3,455,853	△ 7.38	1.02	1.12
附 帯 事 業 収 益	26,031,949	23,029,019	3,002,930	13.04	0.62	0.55
夜間一次 救急診療所 収益	26,031,949	23,029,019	3,002,930	13.04	0.62	0.55
特 別 利 益	13,340,000	0	13,340,000	皆 増	0.32	0.00
過年度 損益修正益	13,340,000	0	13,340,000	皆 増	0.32	0.00
合 計	4,223,964,597	4,169,069,876	54,894,721	1.32	100.00	100.00

計 算 書

(消費税抜き)

科 目	平成 2 5 年 度 (A)	平成 2 4 年 度 (B)	増 減 (C)=(A)-(B)	伸 び 率 (C)/(B) ×100	構 成 比	
					平 成 2 5 年 度	平 成 2 4 年 度
医 業 費 用	円 3,733,413,311	円 3,737,196,638	円 △ 3,783,327	% △ 0.10	% 86.81	% 90.27
給 与 費	2,319,209,213	2,290,619,785	28,589,428	1.25	53.93	55.33
材 料 費	588,991,009	606,424,430	△ 17,433,421	△ 2.87	13.69	14.65
経 費	561,527,235	554,368,927	7,158,308	1.29	13.06	13.39
減 価 償 却 費	245,049,069	250,166,970	△ 5,117,901	△ 2.05	5.70	6.04
資 産 減 耗 費	7,700,234	11,143,654	△ 3,443,420	△ 30.90	0.18	0.27
研 究 研 修 費	10,936,551	24,472,872	△ 13,536,321	△ 55.31	0.25	0.59
医 業 外 費 用	410,777,800	376,134,995	34,642,805	9.21	9.55	9.09
支 払 利 息	134,851,166	145,177,547	△ 10,326,381	△ 7.11	3.14	3.51
繰 延 勘 定 償 却	195,432,402	149,336,297	46,096,105	30.87	4.54	3.61
雑 損 失	80,494,232	81,621,151	△ 1,126,919	△ 1.38	1.87	1.97
附 帯 事 業 費 用	26,462,536	26,367,664	94,872	0.36	0.62	0.64
夜 間 一 次 救 急 診 療 所 費 用	26,462,536	26,367,664	94,872	0.36	0.62	0.64
特 別 損 失	129,871,834	0	129,871,834	皆 増	3.02	0.00
過 年 度 損 益 修 正 損	129,871,834	0	129,871,834	皆 増	3.02	0.00
合 計	4,300,525,481	4,139,699,297	160,826,184	3.88	100.00	100.00
当 年 度 純 利 益	△ 76,560,884	29,370,579	△ 105,931,463	360.67		

		借		方			
科 目	平成25年度		平成24年度		対前年度比		
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	増減 (C)=(A)-(B)	伸び率 (C)/(B) ×100	
		円	%	円	%	円	%
資 産 の 部	固定資産	3,923,676,010	62.90	4,133,780,282	60.96	△ 210,104,272	△ 5.08
	有形固定資産	3,873,234,623	62.10	4,113,957,459	60.67	△ 240,722,836	△ 5.85
	土地	220,046,040	3.53	220,046,040	3.25	0	0.00
	建物	2,643,430,999	42.38	2,884,772,658	42.54	△ 241,341,659	△ 8.37
	構築物	57,178,151	0.92	61,629,968	0.91	△ 4,451,817	△ 7.22
	器械備品	945,387,097	15.16	939,270,198	13.85	6,116,899	0.65
	車両	7,192,336	0.11	8,238,595	0.12	△ 1,046,259	△ 12.70
	無形固定資産	17,727,387	0.28	14,088,823	0.21	3,638,564	25.83
	電話加入権	4,397,933	0.07	4,397,933	0.07	0	0.00
	その他無形固定資産	9,690,890	0.16	9,690,890	0.14	0	0.00
	ソフトウェア	3,638,564	0.05	0	0.00	3,638,564	皆増
	投資	32,714,000	0.52	5,734,000	0.08	26,980,000	470.53
	長期貸付金	32,580,000	0.52	5,600,000	0.08	26,980,000	481.79
	出資金	134,000	0.00	134,000	0.00	0	0.00
	流動資産	1,602,697,841	25.70	1,976,623,704	29.15	△ 373,925,863	△ 18.92
	現金預金	1,029,464,052	16.51	1,403,434,253	20.70	△ 373,970,201	△ 26.65
	未収金	548,240,278	8.79	554,491,989	8.18	△ 6,251,711	△ 1.13
	貯蔵品	20,790,936	0.33	18,697,462	0.27	2,093,474	11.20
	薬品	20,648,610	0.33	18,558,639	0.27	2,089,971	11.26
診療材料	142,326	0.00	138,823	0.00	3,503	2.52	
前払金	4,202,575	0.07	0	0.00	4,202,575	皆増	
繰延勘定	710,911,520	11.40	670,295,908	9.89	40,615,612	6.06	
開発費	4,800,230	0.08	7,200,345	0.11	△ 2,400,115	△ 33.33	
退職給与金	706,111,290	11.32	663,095,563	9.78	43,015,727	6.49	
資産合計	6,237,285,371	100.00	6,780,699,894	100.00	△ 543,414,523	△ 8.01	

対 照 表

(消費税抜き)

		貸		方			
科 目	平成25年度		平成24年度		対前年度比		
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	増 減 (C)=(A)-(B)	伸び率 (C)/(B) ×100	
	円	%	円	%	円	%	
負 債 の 部	固 定 負 債	1,342,613,440	21.52	1,654,316,235	24.40	△ 311,702,795	△ 18.84
	他会計借入金	1,166,000,000	18.69	1,432,000,000	21.12	△ 266,000,000	△ 18.58
	引 当 金	176,613,440	2.83	222,316,235	3.28	△ 45,702,795	△ 20.56
	退 職 給 与 引 当 金	103,800,000	1.66	103,800,000	1.53	0	0.00
	修繕引当金	72,813,440	1.17	118,516,235	1.75	△ 45,702,795	△ 38.56
	流 動 負 債	162,458,742	2.61	165,737,856	2.44	△ 3,279,114	△ 1.98
	未 払 金	147,609,421	2.37	150,233,864	2.21	△ 2,624,443	△ 1.75
	そ の 他 流 動 負 債	14,849,321	0.24	15,503,992	0.23	△ 654,671	△ 4.22
	預 り 金	14,849,321	0.24	15,503,992	0.23	△ 654,671	△ 4.22
	負 債 合 計	1,505,072,182	24.13	1,820,054,091	26.84	△ 314,981,909	△ 17.31
資 本 の 部	資 本 金	9,707,623,771	155.64	9,860,911,260	145.42	△ 153,287,489	△ 1.55
	自己資本金	6,267,169,440	100.48	6,155,667,199	90.78	111,502,241	1.81
	借入資本金	3,440,454,331	55.16	3,705,244,061	54.64	△ 264,789,730	△ 7.15
	企 業 債	3,440,454,331	55.16	3,705,244,061	54.64	△ 264,789,730	△ 7.15
	剰 余 金	△ 4,975,410,582	△ 79.77	△ 4,900,265,457	△ 72.26	△ 75,145,125	1.53
	資 本 剰 余 金	533,390,077	8.55	530,560,077	7.83	2,830,000	0.53
	補 助 金	477,125,142	7.65	476,775,142	7.03	350,000	0.07
	受 贈 財 産 評 価 額	44,583,981	0.71	44,583,981	0.66	0	0.00
	寄 附 金	7,482,000	0.12	7,482,000	0.11	0	0.00
	そ の 他 剰 余 金	4,198,954	0.07	1,718,954	0.03	2,480,000	144.27
	利 益 剰 余 金	15,652,730	0.25	17,066,971	0.25	△ 1,414,241	△ 8.29
	減 債 積 立 金	7,339,888	0.12	8,754,129	0.13	△ 1,414,241	△ 16.16
	建 設 改 良 積 立 金	8,312,842	0.13	8,312,842	0.12	0	0.00
	欠 損 金	5,524,453,389	△ 88.57	5,447,892,505	△ 80.34	76,560,884	1.41
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	5,524,453,389	△ 88.57	5,447,892,505	△ 80.34	76,560,884	1.41	
資 本 合 計	4,732,213,189	75.87	4,960,645,803	73.16	△ 228,432,614	△ 4.60	
負債・資本合計	6,237,285,371	100.00	6,780,699,894	100.00	△ 543,414,523	△ 8.01	